

## 当面の重要課題について

- レジ袋有料化義務化をはじめとする、ワンウェイ・プラスチックの排出抑制対策
  
- プラスチック資源の総合的な回収・リサイクルの推進
  
- アジア禁輸に対応した国内における資源循環体制の構築
  
- 再生材、バイオマスプラスチック、紙等の再生可能資源の利用促進
  
- 犯罪行為であるポイ捨て撲滅、漂流漂着物回収等の海洋プラスチック対策
  
- アジア太平洋をはじめとする途上国における廃棄物管理・3R推進体制の構築支援

など

## 【参考】環境省における主な取組状況

### 【1. 平成31年度予算案における主なもの】

- 省 CO<sub>2</sub>型リサイクル等高度化設備導入促進事業【93.3 億円(15.0 億円)】※平成 30 年度補正含む
- 脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業【35.0 億円(0 円)】
- 容器包装等のプラスチック資源循環推進事業費【2.2 億円(0.8 億円)】
- 海岸漂着物等地域対策推進事業【35.0 億円(31.1 億円)】※平成 30 年度補正含む
- 海洋ごみに係る削減方策総合検討事業費【2.7 億円(1.7 億円)】
- 我が国循環産業の戦略的国際展開・育成事業【4.0 億円(3.5 億円)】
- 我が国循環産業の戦略的国際展開による海外での CO<sub>2</sub> 削減支援事業【2.5 億円(2.5 億円)】

### 【2. 「プラスチック・スマート」キャンペーン】

- 2018 年 10 月 19 日「プラスチック・スマート」キャンペーン立ち上げ  
→取組事例登録状況:176 社・団体(2019 年 1 月 31 日時点)
  - 2019 年 1 月 18 日「プラスチック・スマート」フォーラム立ち上げ
  - 今後の展開
    - 海ごみゼロウィーク(5/30~6/8 全国一斉清掃)
    - 海ごみゼロアワード(2/18~4/10 優良事例の募集、6 月中旬表彰)
    - 海ごみ対策国際シンポジウム(6 月中旬開催)
- ※いずれも日本財団との連携イベント

### 【3. 政府における率先取組】

- 環境省の取組宣言(2018 年 10 月 31 日)
  - 会議において、ストロー、カップ、かき混ぜ棒など、ワンウェイのプラスチックを使用しない。
  - 食堂において、ワンウェイのプラスチック食器・容器を使用しない。
  - 庁舎内において、不必要なワンウェイのプラスチックの使用を自粛することを徹底。これに合わせて、庁舎内のコンビニ、テナント等に使用自粛のための声掛けなどを徹底していただく。
  - グリーン購入法等の仕組みを活用して、こうした取組を各省庁に広げていく。
- 各省庁に対しても取組の実践を要請。順次、各省庁において実践されているところ。

### 【4. グリーン購入法基本方針見直し】

- 2019 年 2 月 8 日閣議決定(4 月 1 日施行)
- 見直し内容(プラスチック関係)
  - 食堂:ワンウェイのプラスチックを使用しないことを設定
  - 小売業務:ワンウェイのプラスチック廃棄物の排出抑制の取組を実施すること、レジ袋に 10%以上バイオマスプラスチックを使用することを設定
  - 会議運営:飲料提供時のワンウェイのプラスチックを使用しないことを設定
  - コピー機等:少なくとも部品の 1 つに再生又は再使用プラスチック部品を使用することを設定